

学校安全 e - ラーニング 初任者等向け研修 テキスト資料

対象

教職員となって1年目からおおむね5年目程度までの方

学習目標

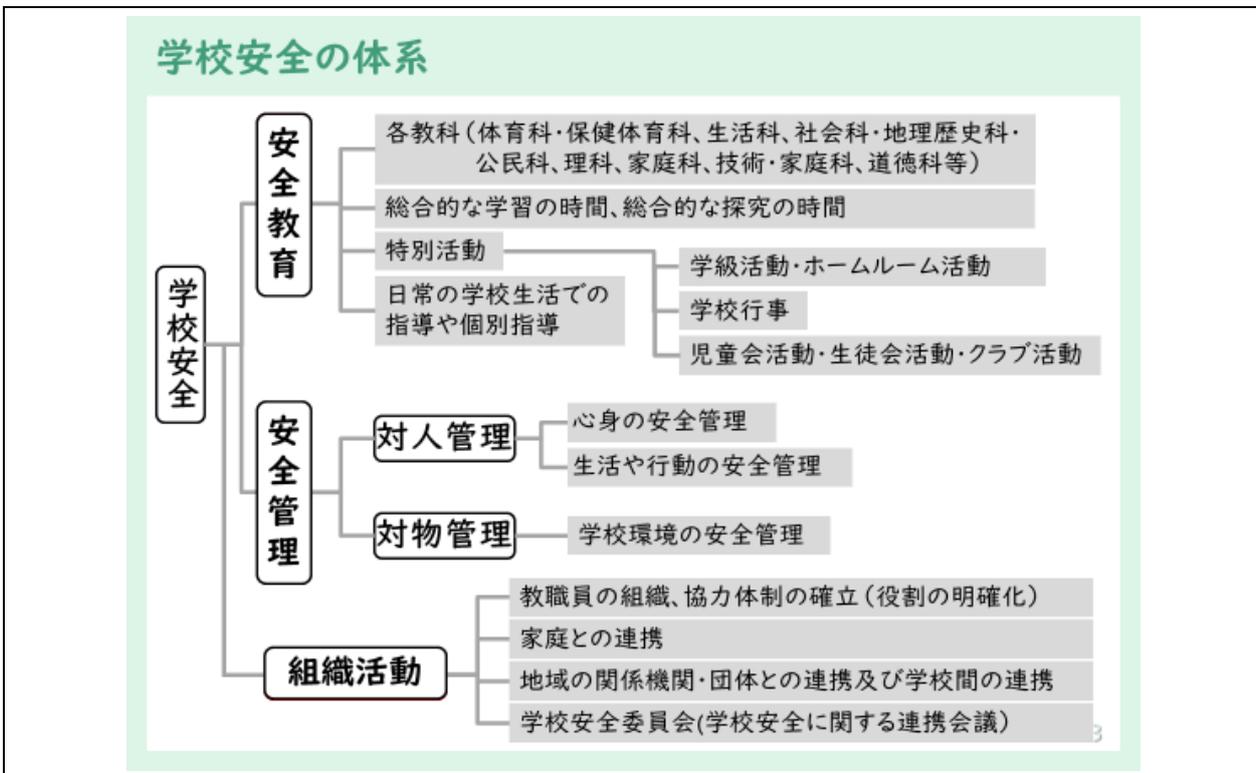
- 児童生徒等に、安全教育を実施することができる
- 危機管理マニュアルの内容を理解し、マニュアルに沿って行動することができる

求められる資質・能力

- 安全教育に関する以下の事項を理解し、児童生徒等に対して、適切な安全に関する指導を行うことができる
 - 安全教育の進め方（各教科等を結びつけた計画的な指導）
 - 学習指導要領に基づく安全教育、各教科等の組合せ方
 - 効果的な安全教育の方法
- 安全管理に関する以下の事項を理解し、危機管理マニュアルに沿って落ち着いた対応ができる
 - 危機管理マニュアルの内容と自身の役割
 - 児童生徒等の安全第一、報告・連絡・相談の重要性
 - 事故等の未然防止のための対応（学校環境・学校生活・通学の安全管理）の具体的方法・留意点
 - 事故等発生時の優先事項（基本原則、救命措置最優先）
 - 下記の緊急対応における具体的方策
 - 熱中症対応
 - 心肺蘇生法
 - アレルギーへの緊急対応
 - 自然災害発生時の対応（避難等）
 - 不審者侵入時の対応

1. 学校安全の体系

1.1 学校安全の体系



はじめに、学校安全の体系をおさらいしましょう。

学校安全の活動は、安全教育と安全管理、さらに、2つを相互に関連づけて組織的に実践するための組織活動で構成されています。

この研修では、特に安全教育と安全管理について、実践的な知識を身に付けていきましょう。

参照	学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3)p.11,12 
----	--

◆ より詳しく学ぶために...

- 校内研修シリーズ No.32「学校安全(総論)」(独)教職員支援機構 

(独)教職員支援機構の校内研修シリーズでは、学校安全に関する様々な講義・関連教材が提供されています。学校安全の意義をはじめ、学校安全に関する総論を知る上では、特に上記の講義が有用です。



2. 安全教育

2.1 安全教育の進め方

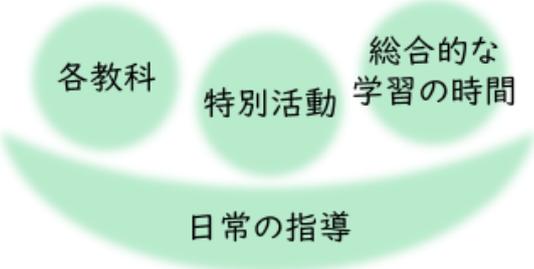
安全教育の進め方

- 学校教育活動全体を通じた計画的な指導
- 様々な教科等に位置づけられた内容を有機的に関連づけ
- 学校安全計画に適切かつ確実に位置づけ
- 全教職員の理解が必要

学校安全計画

(中学校の例)

項目	4	5	6	7-8	9	10	11	12	1	2-3
安全教育										
・社会科										
・理科										
・保健体育科										
・学級活動										
・学校行事										
・部活動										
安全管理										
・安全点検										
組織活動										
・研修										



6

学校における安全教育は、学校の教育活動全体を通じて計画的に行われることが重要です。

体育科・保健体育科をはじめとする各教科、特別活動の時間、総合的な学習の時間といった、様々な教科等に位置づけられた内容を、学習経験のつながりを考慮するなど有機的に関連付けることが求められます。

各種安全教育が学校安全計画に適切かつ確実に位置づけられ、その内容を全教職員が理解していることが必要となります。

参照	学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3)p.36~46
	学校の危機管理マニュアル作成の手引 (H30.2)p.16,17

◆ もう少し詳しく学んでみよう!

- 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3) 付録 p.126~135 (PDF:1.1MB)

学校安全計画例として、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校(知的障害)高等部の例が掲載されています。「学校安全計画」とはどのようなものかをイメージする上で、参考にしてください。

3

2.2 具体的な指導内容例（中学2年生の場合）

具体的な指導内容例（中学2年生の場合）

保健
体育科

傷害の防止	<u>傷害の防止</u> について理解を深めるとともに、 <u>応急手当</u> をすること。
-------	---



社会科
[地理的分野]

日本の地域的特色と地域区分	日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、 <u>自然災害と防災への取組</u> などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること。
---------------	---



理科
[第2分野]

大地の成り立ちと変化	自然の恵みと <u>火山災害・地震災害</u>
気象とその変化	自然の恵みと <u>気象災害</u>



具体的な指導内容について、中学2年生を例に見てみましょう。

中学校学習指導要領では、安全に関する指導について、「保健体育科、技術・家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。」とされています。

各教科等の学習指導要領の中では、保健体育科の保健分野における「傷害の防止」のほか、例えば社会科の地理的分野における「日本の地域的特色と地域区分」、理科の第2分野における「大地の成り立ちと変化」「気象とその変化」などにおいて、取り扱うこととされています。

◆ もう少し詳しく学んでみよう!

- 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3) 付録 p.151~167 (PDF:4.8MB)

幼稚園の「教育要領」及び小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の「学習指導要領」から、「防災を含む安全に関する教育(現代的な課題に関する教科等横断的な教育内容)」について育成を目指す資質・能力に関連する各教科等の内容のうち、主要なものが抜粋して掲載されています。



◆ より詳しく学ぶために...

- 学校安全ポータルサイト「文部科学省×学校安全」



「都道府県・政令市教育委員会作成資料一覧」のページに、都道府県・政令市教育委員会が作成する児童生徒用教材や教師用教材等が多数掲載されており、地方区分、学校安全の領域、災害種などで絞り込むことができます。(使い方は p.6 参照)



- 安全教育に役立つ資料を本テキスト p.32 で紹介しています。

2.3 各教科等の組み合わせ例（小学5年生の場合）

各教科等の組み合わせ例（小学5年生の場合）		
1学期	2学期	3学期
◇【学校行事】避難訓練（地震・火災）	◇【家庭科】ガスコンロ、包丁の使い方	◇【社会】自然災害を防ぐ
◇【学級活動】交通安全について考える	◇【体育】けがの防止（学校や地域でのけがの防止、交通事故・犯罪被害の防止）	◇【総合的な学習の時間】地域安全マップづくり（地域への発表）
◇【学校行事】交通安全教室	◇【道徳】かけがえない命（交通事故）	◇【家庭科】ミソジンの使い分け
◇【理科】天気の変化	◇【理科】台風と天気の変化、流れる水のはたらき	◇【学校行事】避難訓練（地震）
◇【家庭科】針の使い方、防災靴の選び方の針と糸	◇【学校行事】避難訓練（地震）・応急手当	
◇【総合的な学習の時間】地域安全マップづくり		

様々な教科等の組み合わせについて、小学5年生を例に具体的な計画としてみると、例えばこの表のような計画が考えられます。

1学期に学級活動や学校行事で交通安全について学習した後に、2学期にさらに体育で交通事故防止、道徳で命の大切さについて学習したり、1～2学期の理科で天気の変化などについて学習したことを踏まえて、3学期の社会や総合的な学習の時間に学習するなど、有機的に関連付けて進めることが重要です。

◆ もう少し詳しく学んでみよう！

- 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育（H31.3）付録 p.151～167（PDF:4.8MB）[再掲] 



◆ より詳しく学ぶために...

- 学校安全ポータルサイト「文部科学省×学校安全」[再掲] 

「都道府県・政令市教育委員会作成資料一覧」のページに、都道府県・政令市教育委員会が作成する児童生徒用教材や教師用教材等が多数掲載されており、地方区分、学校安全の領域、災害種などで絞り込むことができます。（使い方はp.6参照）



- 安全教育に役立つ資料を本テキストp.32以降で紹介しています。

都道府県・政令市教育委員会作成資料一覧 (学校安全ポータルサイト) の使い方



「学校安全ポータルサイト」トップページのこのボタンから、「都道府県・政令市教育委員会作成資料一覧」へ進みます



表示させたい地方区分、学校安全の領域、対象、災害種を選びます

該当する資料がソートされて表示されます

2.4 教育効果を高める工夫

教育効果を高める工夫

児童生徒等が安全上の課題について、自ら考え、主体的な行動をとることにつながる工夫

危険予測の
演習

視聴覚教材や
資料の活用

地域や校内の
安全マップ作り

学外の専門家
による指導

避難訓練・
応急手当の
実習

犯罪から身を守
るためのロール
プレイング



視聴覚教材の活用



安全マップづくり



腕をつかまれた時の対処法の
訓練

12

教育の効果を高めるためには、児童生徒等が安全上の課題について、当事者意識を持って、自ら考え、主体的な行動をとることにつながるような工夫が必要です。

例えば、危険予測の演習、視聴覚教材や資料の活用、地域や校内の安全マップ作り、学外の専門家による指導、避難訓練や応急手当のような実習、犯罪から身を守るためのロールプレイングの導入など、様々な手法をとり入れていくことが効果的です。

参照 学校防災マニュアル(地震・津波災害)作成の手引き(H24.3)p.39,40



◆ より詳しく学ぶために...

- 学校安全ポータルサイト「文部科学省×学校安全」

「映像資料(DVD)」のページに、安全教育に活用できる映像資料(DVD)が紹介されています。一例を以下に紹介します。



- 安全に通学しよう ～自分で身を守る、みんなで守る～(H25.3)

通学時の交通安全、生活安全(防犯)、災害安全(防災)の各領域に亘って、児童自らが習得した知識に基づいて的確に判断し、迅速に安全行動をとることができるようになることを目的に作成された教育教材です。動画ファイル、利用解説書、ワークシート等がダウンロードできます。

- 国土地理院の出前講座

地図記号から先端技術まで「地図と測量」に関する出前講座の内容や申し込み方法等が紹介されています。



- 学校関係者向け「水災害からの避難訓練ガイドブック」(国土交通省 R4.3)

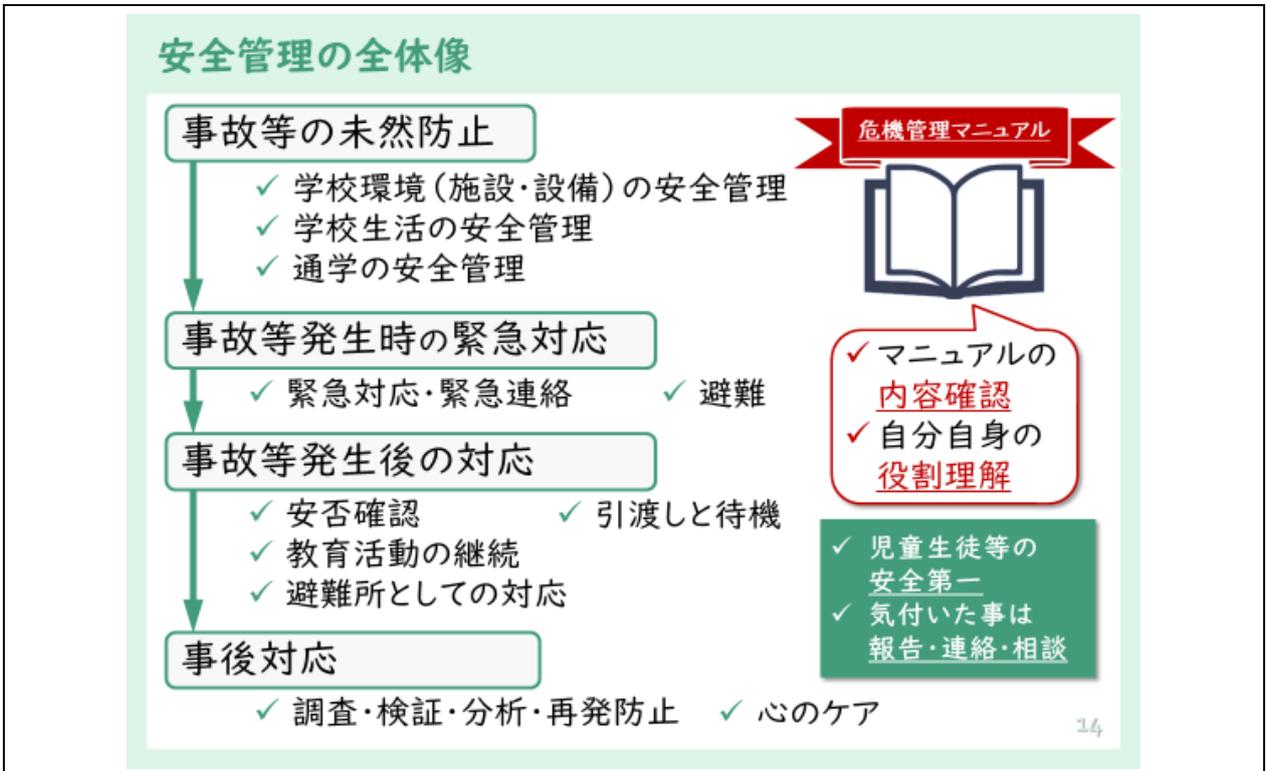
水害発生時の避難の手順やタイミング、避難訓練のパターンなど、訓練の際に参考にすることの出来るポイントが掲載されています。



- 安全教育の取組事例については、本テキスト p.38以降で紹介した各種資料等を参照してください。

3. 安全管理

3.1 安全管理の全体像



学校における安全管理は、事故等が起こらないようにする未然防止活動、事故等発生時の緊急対応と発生後の対応、さらに事後対応の4つの要素に分けられます。

各学校では、これらの事項をまとめた「危機管理マニュアル」を定めていますので、その内容をしっかり確認するとともに、自分自身の果たすべき役割を理解して、マニュアルに沿って行動できるようにしておく必要があります。また、日ごろから「児童生徒等の安全が第一」という意識を持ち、安全に関して気付いた事は積極的に報告・連絡・相談するという姿勢で臨むことが大切です。

ワーク1

あなたの学校で定められている「危機管理マニュアル」の内容を確認し、自分自身が担う役割を書き出してみましょう。

記入欄

⇒解説は本テキスト p.31を参照

4. 事故等の未然防止

4.1 未然防止の3つの側面

未然防止の3つの側面

The diagram illustrates three aspects of accident prevention: **学校環境 (施設・設備)** (School Environment (Facilities/Equipment)), **学校生活** (School Life), and **通学** (Commuting). Each aspect is represented by a green circle and associated illustrations. School Environment includes a school building, a sink, and a soccer goal. School Life includes children playing on a slide and a teacher at a desk. Commuting includes a student falling, a student on a bicycle, and a train.

学校環境 (施設・設備)

学校生活

通学

事故等の未然防止は、校舎内外の施設・設備など学校環境の安全管理、児童生徒等の行動により生じる危険を防止するための学校生活の安全管理、そして通学の安全管理という3つの側面から考える必要があります。

4.2 学校環境（施設・設備）の安全管理

学校環境（施設・設備）の安全管理

校舎内・園舎内	<input type="checkbox"/> 教室・保育室 <input type="checkbox"/> 廊下、テラス、階段、昇降口、ベランダ、非常階段 <input type="checkbox"/> 便所、水飲み場 <input type="checkbox"/> 学校給食の調理室 <input type="checkbox"/> 体育館・遊戯室	<input type="checkbox"/> 屋上、バルコニー <input type="checkbox"/> 特別教室など <input type="checkbox"/> 校舎・園舎等の外壁
校舎外・園舎外	<input type="checkbox"/> 校地、園庭、運動場等 <input type="checkbox"/> 遊具、体育等の固定施設・移動施設 <input type="checkbox"/> 運動用具等の倉庫 <input type="checkbox"/> 足洗い場	<input type="checkbox"/> プール <input type="checkbox"/> 農場、飼育場

事件・事故・災害を想定

<p>■ 不審者侵入防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 校門、外灯、出入口等の破損 <input type="checkbox"/> 警報装置等の作動確認 <input type="checkbox"/> 死角の原因（立木等）の有無 <input type="checkbox"/> 駐車場等からの侵入可能性 	<p>■ 災害等への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 避難経路等周辺の障害物有無 <input type="checkbox"/> 避難器具 <input type="checkbox"/> 設備等の転倒・落下防止
--	---

学校環境の安全管理では、まず、安全点検を実施し、危険性が認められた場合には、適切な改善措置を講じます。点検の対象は、校舎内外の様々な箇所です。例えば、破損している箇所や、転倒したり落下したりしやすいものはないか、引っ掛かったりぶつかったりしやすい突起物などはないか、挟まれやすい場所や滑りやすい場所はないか、などという観点で点検します。

また、事件・事故・災害を想定した点検も必要です。不審者の侵入防止、災害への備えという観点から、施設・設備の点検を行います。

参照	学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育（H31.3）p.54～59
	学校の危機管理マニュアル作成の手引（H30.2）p.10～13
	学校防災マニュアル（地震・津波災害）作成の手引き（H24.3）p.14,15

◆ もう少し詳しく学んでみよう！

- 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育（H31.3）

巻末の別表や付録として、以下の情報が掲載されています。

- 学校環境の安全管理の対象と項目…別表 p.116～119 (PDF:945KB)
- 安全点検表の例…付録 p.146～148 (PDF:858KB)

◆ より詳しく学ぶために…

- 学校施設における事故防止の留意点について（文部科学省 H21.3）（PDF:4.5MB）

第3章では、教室や廊下等での事故防止の留意点が紹介されています。付録部分に留意点と対策の便利な索引が掲載されています。



- 学校における転落事故防止のために(文部科学省 H20.8) (PDF:1.0MB)  

転落事故防止のためポイントが、イラスト入りでわかりやすく簡潔に示されています。
- 学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック(文部科学省 改訂版 H27.3、追補版 H31.3)  

第4章に地震を想定した教室等の点検項目例が記載されています。
- 台風等の風水害に対する学校施設の安全のために(文部科学省 R2.3)  

風水害に対して、学校施設で点検 実施が望まれる措置等のポイントがまとめられています。
- 避難所となる学校施設の防災機能に関する事例集(文部科学省 R2.3)  

学校施設の防災機能強化に取り組む学校や地方公共団体の事例がまとめられています。
- 都市公園における遊具の安全確保に関する指針(改訂第2版)(国土交通省 H26.6) (PDF:2.1MB)  

4章に、想定できる危険と対策例、安全点検のポイントやマニュアル例が紹介されています。
- なかよくあそぼうあんぜんに((社)日本公園施設業協会 R2.3) (PDF:10.0MB)  

遊具と遊び場での事故を減らすことを目的として、学校の先生や保育所の保育士などを含めて子どもを見守り指導する保護者のために、遊具の安全な利用方法などを取りまとめた冊子です。
- 学校における固定遊具による事故防止対策調査研究報告書
(独)日本スポーツ振興センター H24.3)  

資料編第1章では遊具別の死亡・障害事故事例、第3編第2章では点検のポイントが紹介されています。
- 「水害リスクを踏まえた学校施設の水害対策の推進に向けて」中間報告
(学校施設等の防災・減災対策の推進に関する調査研究協力者会議 R4.6)  

学校施設における水害対策の基本的な考え方について、まとめられています。

ワーク 2

あなたは、校庭にある滑り台の安全点検をしようとしています。
どのような危険を想定し、どのような観点で点検しますか。



記入欄

⇒解説は本テキスト p.31を参照

ワーク 3

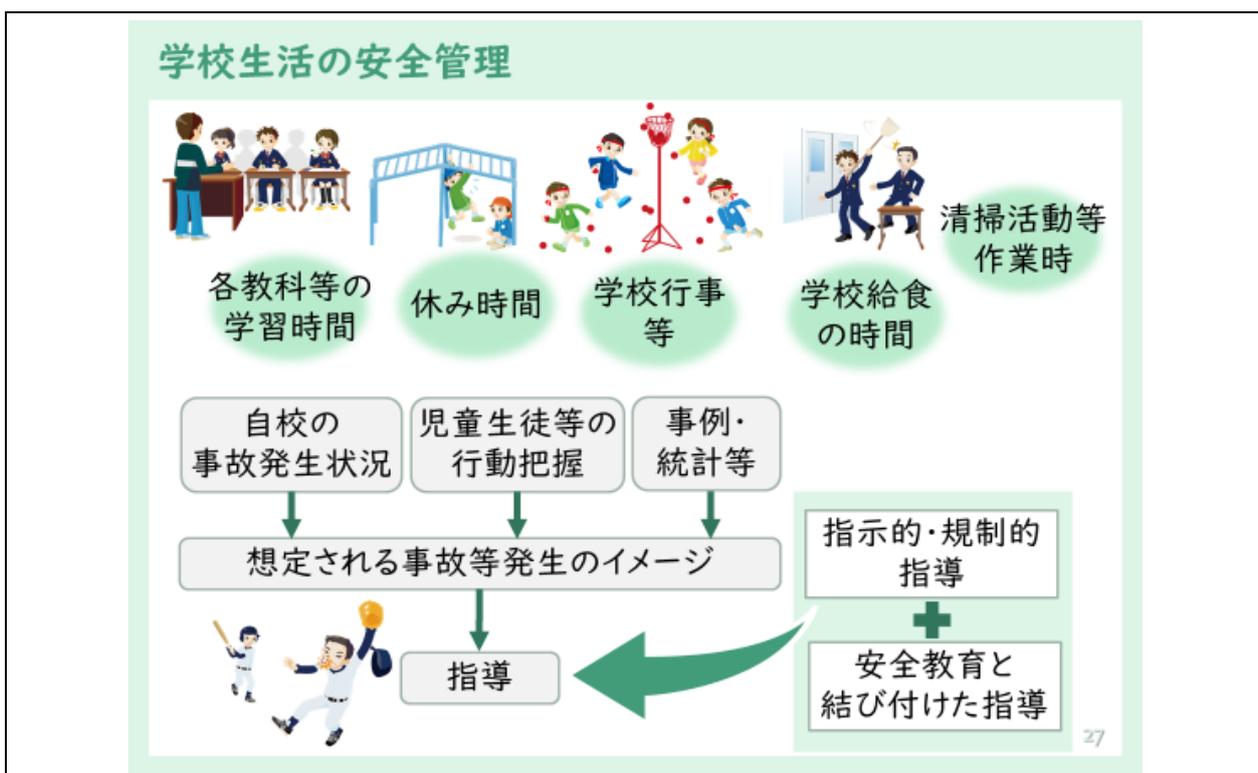
あなたは、教室の安全点検を行います。
どのような危険を想定し、どのような観点で点検しますか。



記入欄

⇒解説は本テキスト p.31を参照

4.3 学校生活の安全管理



続いて、学校生活の安全管理について見てみましょう。授業の時間以外にも、休み時間、学校行事など特別活動の時間、給食や清掃活動の時間など、様々な場面での安全管理が必要です。

学校生活の安全管理は、児童生徒等の行動により生じる危険を早期に発見し、事故を未然に防止するために行うものです。そのためには自校の事故発生状況や児童生徒等の行動実態などを踏まえて、想定される事故等の発生をイメージし、適切な指導が必要です。こうした指導は、事故防止を目的とするために指示的・規制的になりがちですが、指示・規制するだけでなく、児童生徒等に安全な行動選択の必要性、安全な行動の実践方法を理解させるなど、安全教育と結び付けて、指導を徹底させることが大切です。

参照	学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3) p.59~63  学校の危機管理マニュアル作成の手引 (H30.2) p.10~13 
----	---

◆ もう少し詳しく学んでみよう!

- 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3) 別表 p.120,121 (PDF:945KB) [再掲]
学校生活の安全管理の対象と項目が掲載されています。 



◆ より詳しく学ぶために...

- 教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応 (文部科学省 H21.3) 
第二章に健康観察の方法やモデル的な健康観察表が掲載されています。



- 学校における転落事故防止のために (文部科学省 H20.8) (PDF:1.0MB) [再掲] 
屋上や窓等の転落事故が発生しやすい場所と対策のポイントが解説されています。



○ 学校安全Web (独)日本スポーツ振興センター



- 学校事故事例検索データベース
平成17～令和2年度に災害共済給付の対象となった約8,400件の死亡・障害事例を検索できます。
- 学校現場での取組
事故の未然防止の取組事例を全国6地域に分けて紹介しています。
- 『学校の管理下における体育活動中の事故の傾向と事故防止に関する調査研究』—体育活動における頭頸部外傷の傾向と事故防止の留意点— 調査研究報告書
災害共済給付データに基づく「体育活動における頭頸部外傷の傾向」として、「頭頸部外傷に係る災害実地調査」及び「調査結果を踏まえた安全指導・安全管理、事故防止の留意点」などを中心に、ラグビー、柔道、野球、サッカー、水泳について掲載しています。
- 学校の管理下の災害(毎年発行)
各年度に災害共済給付の対象となった学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点、学校の管理下の災害—基本統計—(負傷・疾病の概況)が掲載されています。

ワーク4

清掃活動中に、図のような行動を目撃しました。あなたは、どのように指導しますか？
また、このような事態にならないように日常からどのように指導しますか？



記入欄

⇒解説は本テキスト p.31を参照

4.4 通学の安全管理

通学の安全管理

- **通学路**の設定と安全確保
 - ・できるだけ安全な経路を設定
 - ・点検し、危険箇所・要注意箇所を共有
- 安全な**通学方法**の策定・実施
 - ・交通手段の特性を考慮
 - ・悪天候時や災害等発生時の安全確保、誘拐等の犯罪被害防止も考慮





通学路の
合同点検



見守り活動



危険箇所・
不審者等の
情報共有

29

通学の安全確保のためには、通学路を設定し、その安全確保を図ること、そして安全な通学方法を定めて実施することが必要です。

こうした活動では、教育委員会・学校・保護者や、警察・道路管理者、地元市町村の安全安心まちづくり担当部局などの関係機関、地域の関係団体などと連携を図って取り組むことが重要となります。例えば、通学路の合同点検、危険箇所や不審者などに関する情報の共有、「見守り活動」などを、学校と地域、関係機関・団体が一体となって展開することが大切です。

参照	学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3)p.63~70  学校の危機管理マニュアル作成の手引 (H30.2)p.8 
----	--

◆ もう少し詳しく学んでみよう!

- 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3) 別表 p.122~124 (PDF:1.1MB) [再掲]
 通学の安全管理の対象と項目が掲載されています。 



○ 通学の安全確保の具体的な方法等

<p>事故等の未然防止(3) 通学の安全確保</p> <p>■ 通学路の設定と安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> できるだけ安全な経路を設定 <p>交通事情 犯罪防止 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に点検、危険箇所・要注意箇所を共有  <p>死角になりやすい箇所の確認</p>	<p>通学路は、交通事情等、誘拐や傷害などの犯罪防止、土砂崩れや河川の氾濫など防災の観点から考慮して、できるだけ安全な経路を設定します。また、定期的に点検して、危険箇所や要注意箇所があれば、警察、道路管理者や地域の関係者と連携して対応していきます。</p>
<p>事故等の未然防止(3) 通学の安全確保</p> <p>■ 通学路の設定と安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> できるだけ安全な経路を設定 点検し、危険箇所・要注意箇所を共有 <p>■ 安全な通学方法の策定・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通手段の違いによる安全確保 交通事故の防止 【ルール遵守】 + 【周辺状況の注意】 悪天候時や災害等発生時の安全確保 登下校中の災害等への対応 誘拐・傷害等による犯罪被害防止 見守り活動等 	<p>安全な通学方法を定め、実施させることも重要です。</p> <p>その際には、利用する交通手段の違いに留意し、例えば、自転車、二輪車や定時制高校における自動車通学など車両を用いた通学に対しては、それに応じた指導等を行います。また、交通事故の防止については、交通ルールの遵守はもちろん、周囲の状況に注意して通行する必要があります。登下校中に災害等が発生した場合に備えて、児童生徒等にはとるべき行動、災害種別の安全な避難場所などを理解させます。さらに、誘拐などの犯罪被害防止のためには、保護者や地域の協力を得ながら、登下校の見守り活動などを行います。</p>
<p>事故等の未然防止(3) 通学の安全確保</p> <p>■ 通学路の設定と安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> できるだけ安全な経路を設定 点検し、危険箇所・要注意箇所を共有 <p>■ 安全な通学方法の策定・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通手段の違いによる安全確保 交通事故の防止 悪天候時や災害等発生時の安全確保 誘拐・傷害等による犯罪被害防止 <p>■ 地域全体で見守る体制の整備等</p> <p>各機関が協力</p> <p>巡回 声掛け運動 情報共有</p> 	<p>通学路の安全確保は、通学路の巡回や声掛け運動の実施、不審者情報等の共有など、学校と保護者、教育委員会、警察や道路管理者、地元市町村など、様々な機関が協力し、地域全体で見守る体制を整備して進める必要があります。</p>

◆ より詳しく学ぶために...

○ 登下校防犯プランの概要(内閣官房 H29.6) (PDF:347KB) 

平成30年5月、新潟市で下校中の児童が殺害されるという事件を受けて、関係省庁が横断的に取り組むべき課題であるという認識の下、「登下校時の子供の安全確保に関する関係閣僚会議」にて取りまとめられた対策です。このプランは、次の5項目を柱として、関係者の連携のもと、学校や地域の実情に応じた登下校時の防犯対策について取り組まれることとなっています。

1. 地域における連携の強化
2. 通学路の合同点検の徹底および環境の整備・改善
3. 不審者情報等の共有及び迅速な対応
4. 多様な担い手による見守りの活性化
5. 子供の危険回避に関する対策の促進



○ 登下校防犯プランポータルサイト(内閣府) 

「登下校防犯プラン」の全文ならびに上記5項目に関連する各種取組が紹介されており、例えば次のような情報へアクセスすることができます。

- 警察庁:「登下校時における子供見守り活動」・「ながら見守り活動」事例集
- 厚生労働省:放課後児童クラブ(児童館)への来所・帰宅時における安全点検リスト
- 国土交通省:「通学路における緊急合同点検等実施要領」



○ 登下校時における児童生徒等の安全確保について(依頼)(文部科学省 H30.7) 

通学路の合同点検フローチャート図、チェックリスト、着眼点を確認できます。



○ 登下校時の安全確保に関する取組事例集(文部科学省 H18.1) 

各学校等での児童生徒等の登下校時における安全確保に関する特色ある事例が紹介されています。なお、文部科学省のウェブサイトでの掲載が終了したため、上記リンクでは国立国会図書館が収集したウェブサイトが表示されます。



○ 「科学が支える子どもの被害防止」のサイト(予防犯罪学推進協議会) 

『聞き書きマップ』や「危険なできごとカルテ」など、子どもの被害防止の取組を支援するツールと、それらを使ってどのように取組を進めるかを説明した手引き書・マニュアルなどを公開しています。



○ 通学中の事故の現状と事故防止の留意点調査研究報告書
(独)日本スポーツ振興センター H26.3) 

第3編第2章IIでは、通学に係る安全管理のポイントが解説されています。



○ やってみよう!登下校見守り活動ハンドブック(文部科学省 R3.3) 

見守り活動の手引きとして、注意事項、注意が必要な場所、活動における工夫などが掲載されています。



5. 事故等発生時の緊急対応

5.1 事故等発生時の基本原則

事故等発生時の基本原則



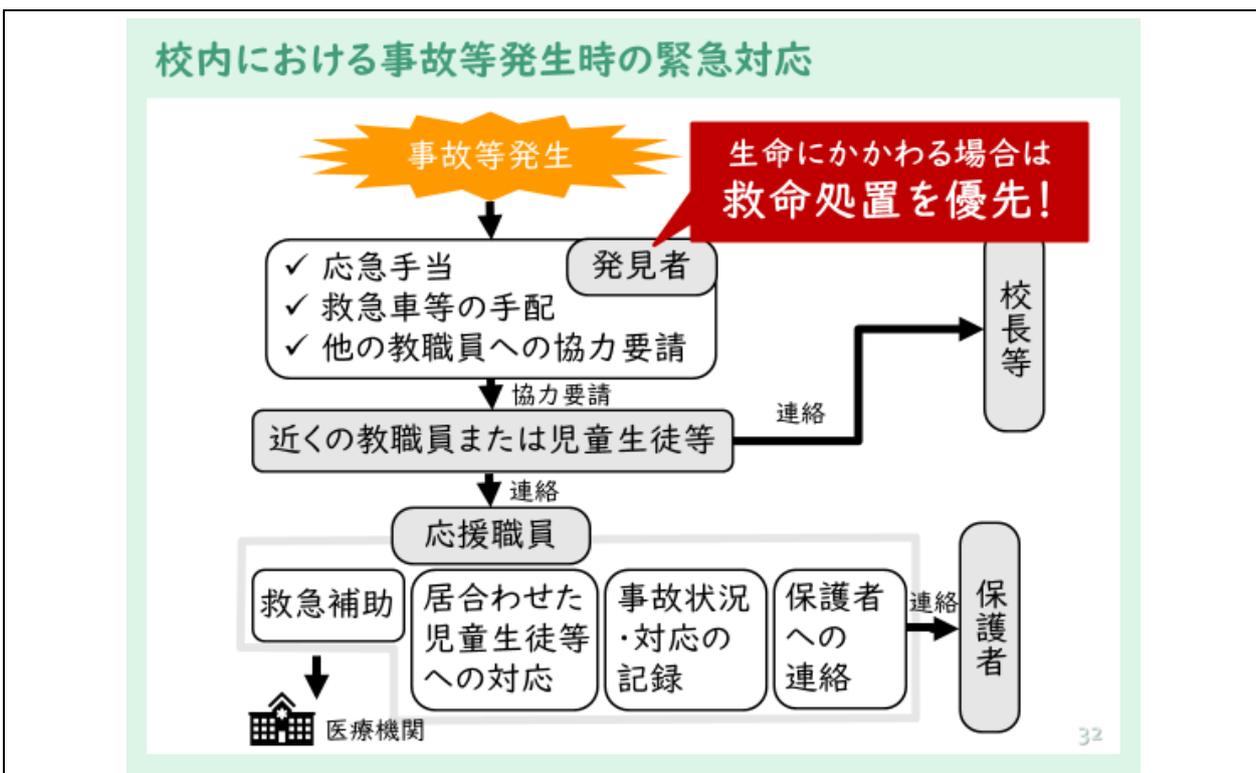
児童生徒等の生命と健康を最優先



事故等の未然防止対策をしていたにもかかわらず、万が一、事件・事故・災害が発生した場合には、児童生徒等の生命と健康を最優先させることが基本原則です。

参照 | 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3)p.70 

5.2 校内における事故等発生時の緊急対応



例えば、校内で事故等が発生した場合には、その場に居合わせた教職員が、応急手当、救急車等の手配を行うとともに他の教職員への協力を要請し、複数で必要な対応を分担して行います。

事故等の状況によっては、救命処置が一刻を争う場合があります。被害児童生徒等の生命にかかわる場合は、管理職への報告よりも救命処置を優先します。

参照	学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3)p.71,72  学校の危機管理マニュアル作成の手引 (H30.2)p.18,19  学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン (R3.6)解説編 p.51～52 
----	---

◆ より詳しく学ぶために...

- 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン (内閣府 H28.3) (PDF:179KB) 

幼稚園等における事故発生時の対応については、上記のガイドラインを参照してください。当該ガイドラインは平成27年4月の「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者が整備することとされている、事故が発生した場合の対応等が記載された事故発生防止のための指針の参考として公表されたものです。様式例や参考資料等も掲載されています。



5.3 熱中症への対応

熱中症への対応

**熱中症警戒アラート
暑さ指数 (WBGT)**

予防

- ✓ 環境条件の把握
- ✓ 運動量の調整
- ✓ 必要に応じた水分・塩分補給

めまい、失神、吐き気、頭痛、ふらつき、転倒等

✓ 涼しい場所に避難

✓ 全身を冷却、水分・塩分補給

✓ 改善しない場合は**病院へ搬送**

意識障害の疑い

✓ 救急車要請

✓ 応急手当 (身体冷却)



34

近年、猛暑の中では熱中症にも注意する必要があります。予防のために、活動前には環境条件を把握した上で、運動量を調整し、必要に応じた水分・塩分補給ができる環境を整えることが必要です。

環境条件の把握においては、特に、熱中症警戒アラートや暑さ指数といった情報を確認することが大切です。

児童生徒等に、めまい、失神、吐き気など、熱中症の症状がみられるときは、涼しい場所に避難させ、全身を冷却し水分・塩分を補給し、改善しない場合は病院へ搬送します。ただし、意識障害の疑いがある場合は、すぐに救急車を要請すると同時に身体冷却などの応急手当を行う必要があります。

参照	学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3)p.73,74
	学校の危機管理マニュアル作成の手引 (H30.2)p.21
	学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン (R3.6)解説編 p.56~57

◆ もう少し詳しく学んでみよう!

- 「文部科学省×学校安全 熱中症・水難事故防止関連情報」(文部科学省)
熱中症予防の原則や熱中症警戒アラート発表時の予防行動(リーフレット)が公開されています。
- 学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き (環境省・文部科学省 R3.5)
学校における実際の熱中症対策や判断の参考となる事項が記載されています。



◆ より詳しく学ぶために...

- 「熱中症から身を守るために」のページ (気象庁)
サイト上では次のような様々な情報が公表されています。
 - ・ 熱中症に備えるための情報: 熱中症警戒アラート
 - ・ 天気予報: 今日・明日・明後日の天気 (最高気温を含む)、2週間気温予報
 - ・ 気温の観測情報: 現在の気温、日最高気温に関する情報



○ 熱中症予防情報サイト(環境省) 

サイト上では次のような様々な情報が公表されています。

- 全国の暑さ指数(実況と予測)(毎年4月~10月頃まで)
- 熱中症警戒アラート(毎年4月~10月頃まで)
- 熱中症の基礎知識、予防方法と対処方法
- 普及啓発資料「熱中症予防のポイント」「熱中症警戒アラート」「熱中症環境保健マニュアル」等



○ 「熱中症を予防しようー知って防ごう熱中症ー」のページ((独)日本スポーツ振興センター) 

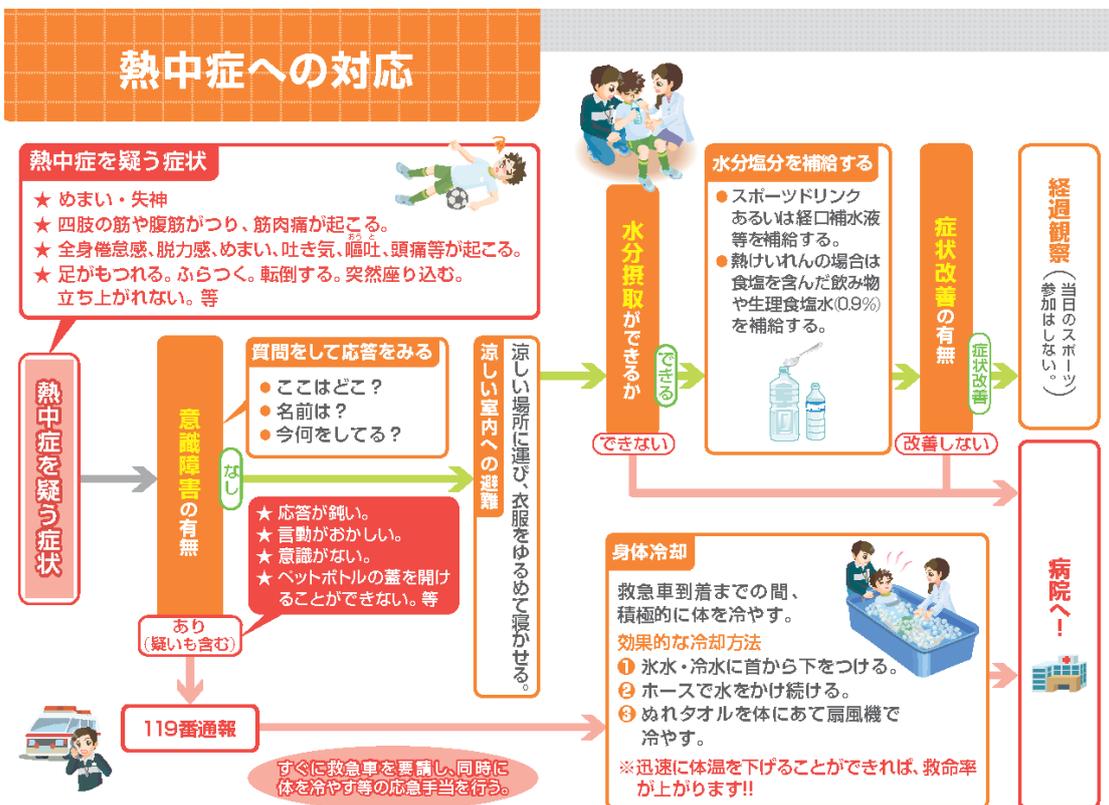
サイト上では次のような様々な資料が公開されています。

- パンフレット「熱中症を予防しようー知って防ごう熱中症ー」
- 映像資料「熱中症を防ごうー知って防ごう熱中症ー」
- 健康自己チェック表・部活動チェック表



○ スポーツ事故防止ハンドブック/スポーツ事故対応ハンドブック (独)日本スポーツ振興センター) 

熱中症対応フロー(下図)のほか、心停止に対する応急手当、頭部外傷事故発生時の対応フロー、眼の外傷対応フローなど、わかりやすく簡潔にまとめられています。



「スポーツ事故対応ハンドブック(フローチャート編)」((独)日本スポーツ振興センター)より

○ 熱中症に気をつけよう!~水分補給の大切さ~(動画)((財)日本学校保健会) 

約15分程度の動画です。学校(園)・個人は、申込を行うことで、動画を無料でダウンロードすることもできます。



○ スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック((財)日本スポーツ協会 R1.5) 

熱中症に関する研究成果や研究成果に基づいた予防法について、知ることができます。



5.4 心肺蘇生法

心肺蘇生法



意識なし
呼吸なし

✓ 胸骨圧迫
✓ AED(自動体外式除細動器)使用

判断できない・わからない

全ての
教職員

✓ 訓練・研修で胸骨圧迫・AED使用法を習得
✓ AED保管場所を確認

34

児童生徒等が倒れ、意識や呼吸がない場合は、胸骨圧迫などの心肺蘇生を行うとともに、AEDを使用します。

このとき、意識の有無や呼吸の状態が判断できないとき、わからないときは、迷わず胸骨圧迫を行い、AEDを使用することが大切です。全ての教職員は、訓練・研修を通じてその方法を習得しておくとともに、AEDの保管場所を確認しておくことが必要です。

参照 学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン(R3.6)解説編 p.53 

◆ より詳しく学ぶために...

- 「ASUKA モデル」のページ(さいたま市) 

平成23年9月29日、さいたま市立小学校6年生の桐田明日香さんが、駅伝の課外練習中に倒れ救急搬送された後、翌30日に死亡するという事故が起きたことを教訓に作成された教員用テキスト「体育活動時等における事故対応テキスト～ASUKAモデル～」が掲載されています。
また、教員研修用DVDも作成されており、その内容はYouTubeで公開されています。



- 運命の5分間その時あなたは～突然死を防ぐために～(DVD) ((独)日本スポーツ振興センター) 

心停止のサインである心室細動と死闘期呼吸についてCGとドラマでわかりやすく表現しています。また、心肺蘇生とAEDの使用の必要性を認識させる構成となっています。



- 体育活動による頭部・頸部の外傷 ～発生時の対応～(DVD) ((独)日本スポーツ振興センター) 

頭頸部外傷の発生メカニズムをアニメーションで解説し、頭頸部外傷発生時の対応をフローチャートに基づいて紹介しています。また、脳震盪の診断の方法や「教師のための頭頸部外傷の10か条」を収録しています。また、心肺蘇生とAEDの使用の必要性を認識させる構成となっています。



- スポーツ事故防止ハンドブック／スポーツ事故対応ハンドブック (独) 日本スポーツ振興センター 



心停止に対する応急手当(下図)のほか、頭頸部外傷事故発生時の対応フロー、眼の外傷対応フロー、熱中症対応フローなど、わかりやすく簡潔にまとめられています。

心停止に対する応急手当

突然死に至る顕著な兆候である心停止状態は、学校においては運動時、校内活動時等に突発するが、この状態にある者の応急手当は、初めの2～3分間にとられる行動がその者の救命を決定するので、落ち着いて応急手当の手順を速やかに開始する。

迅速な通報と心停止の認識
初めの2～3分間にとる行動が、その者の救命を決定する!

傷病者発見

★ 大きな声で呼びかけをする。
★ 肩を軽く叩く。
何らかの反応があるか?

★ 反応なし、判断に迷う(わからない)

● 応援を要請し、119番通報する!
● AEDを依頼する!

★ 正常な呼吸をしているか。
★ 腹部や胸部の動きを観察。
10秒以内で観察。

● すぐに心肺蘇生を開始する

★「反応あり」の場合は、倒れた人の側を離れず、全身の状態を観察する。
★「呼吸あり」の場合は、気道の確保を行い、応援・救急隊を待つ。

迅速な心肺蘇生とAEDによる電気ショック

胸骨圧迫 → 気道確保 → 人工呼吸 の手順で!

※水の事故(溺水)では、気道確保と人工呼吸を優先してください。

● 強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫を! ● すぐにAEDを装着しよう!

1 心肺蘇生

- ただちに胸骨圧迫を開始する
 - 強く(成人は少なくとも5cm、小児は胸の厚さの約1/3)
 - 速く(少なくとも100回/分)
 - 絶え間なく(中断を最少にする)
- 人工呼吸ができる場合は30:2で胸骨圧迫に人工呼吸を加える
人工呼吸ができないか、ためられる場合は胸骨圧迫のみを行う

結果的に心停止ではない人に、胸骨圧迫を行ったりAEDを使用したりしても、大きな問題は起こりません。

2 AED装着

3 心電図解析
電気ショックは必要か?

必要あり

必要なし

4 ショック1回
ショック後ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開*

5 ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開*

※ 強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫を!

救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に呼吸や目的のある仕草が認められるまで心肺蘇生を続ける。

日本蘇生協議会(JRC)と日本救急医療財団で構成するガイドライン制作合同委員会が作成した救急蘇生のためのガイドライン/2010、さいたま市教育委員会作成平成24年度版体育活動時等における事故対応テキスト～ASUKAモデル～を参考にしました。

「スポーツ事故防止ハンドブック」(独) 日本スポーツ振興センターより

- 学校での緊急時対応計画:EAP (独) 日本AED財団 (PDF:100KB) 
- ASUKAモデルを参考にした傷病者発生時の判断・行動チャートが記載されています。



5.5 アレルギーへの緊急対応

アレルギーへの緊急対応

アナフィラキシー

発見者 = 観察

- ✓ 助けを呼ぶ
- ✓ 緊急性の判断
- ✓ エピペン®、AEDの指示

5分以内に判断

緊急性の高い
症状があるか？

あり

- ✓ 救急車要請
- ✓ 直ちにエピペン®使用
- ✓ 反応・呼吸なし ⇒心肺蘇生
- ✓ その場で安静、救急車を待つ

全ての教職員

- ✓ エピペン®の使い方など、実践的な訓練・研修
- ✓ 処方を受けている児童生徒等の情報共有

35

アレルギー疾患により、緊急対応が必要となる場合もあります。特に、アナフィラキシーは非常に短時間のうちに重篤な状態に至ることがあり、迅速・適切な対応が求められます。

誰が発見者になった場合でも適切な対応がとれるよう、教職員全員が実践的な訓練や研修を受けるとともに、必要な情報を共有することが重要です。

参照	学校の危機管理マニュアル作成の手引 (H30.2) p.22,23
	学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン (R3.6) 解説編 p.58

◆ より詳しく学ぶために...

- 「アレルギー疾患対策」のページ (文部科学省)

次のような資料へのリンクがまとめて掲載されています。

- 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン ((財)日本学校保健会 H20.3)
- 学校給食における食物アレルギー対応指針 (文部科学省 H27.3)
- 学校におけるアレルギー疾患対応資料 (DVD) 映像資料及び研修資料



- 学校の管理下における食物アレルギーへの対応調査研究報告書 ((独)日本スポーツ振興センター H23.3)

第3編第3章では実際に活用できる参考書式が紹介されています。



- エピペン®サイト

アナフィラキシー補助治療剤エピペン®の使用に関する情報や講習に役立つコンテンツが掲載されています。



- 学校給食における食物アレルギー対応指針(文部科学省 H27.3)(PDG:310KB) 

学校給食におけるアレルギーへの対応方針について、基本的な考え方や留意すべき事項等が具体的に示されています。



- 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン(令和元年度改訂)((財)日本学校保健会)(PDF:198KB) 

アレルギー疾患に対する学校での取り組みの在り方が整理されています。



5.6 自然災害発生時の対応

自然災害発生時の対応

地震・津波など避難が必要な場合

- **冷静・的確な指示**
- 児童生徒等の安全を最優先としつつ **自らの安全も確保**

実践的な訓練



実践的な避難訓練

避難先・
避難方法等
習熟

関係機関
連絡先

避難携行品
の準備

救急
セット、
AED

名簿

ハンドマイク

校外活動時

- ✓ 事前に**現地の情報**を把握
- ✓ 活動中の**情報入手手段**を確認

【過去の事例】
昭和58年日本海中部地震
遠足中の児童13名が
津波の犠牲

36

自然災害発生時の対応は、災害の種類によって異なります。

地震や津波などでは、一刻も早く安全な場所に避難することが必要です。教職員は、冷静・的確な指示を行い、児童生徒等の安全を最優先としながら自らの安全も確保することが求められます。そのためには、日ごろから実践的な訓練を行い、避難方法等に習熟しておくことが必要です。また、関係機関の連絡先一覧表や、児童生徒等の名簿、ハンドマイク、救急セットや AED 等、避難の際に必要な物品は、すぐに携行できるように準備しておき、訓練で実際に活用しましょう。

また、校外活動を行う場合には、事前に現地の状況やハザードマップ、気象情報などを十分に把握するとともに、活動中の気象情報入手手段も確認します。

参照	学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3)p.76~79  学校の危機管理マニュアル作成の手引 (H30.2)p.36~41  学校防災マニュアル(地震・津波災害)作成の手引き (H24.3)p.20~22  学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン (R3.6)解説編 p.63~66,p.69 
----	---

◆ 事例解説①:昭和 58 年(1983 年)日本海中部地震

昭和58年5月26日12時00分、男鹿半島の北西約70kmでマグニチュード7.7の地震が発生し、津波警報発表の前後に大きな津波が日本海沿岸を襲いました。津波は日本海沿岸の8道府県の広い範囲に被害をもたらし、この災害による犠牲者104名のうち津波による死者は100名にのぼっています。

この災害で、秋田県男鹿市の加茂青砂海岸では、同県内の内陸部にある北秋田郡合川町から遠足に来ていた合川南小学校の児童45人と引率教諭らが津波に襲われました。一行は、マイクロバスで移動中に地震の揺れに遭遇しましたが、揺れがおさまったことから、昼食の弁当を広げるため海岸へ出たとされています。その多くは、近隣住民や漁船によって救出されましたが、児童13名が犠牲になりました。

◆ 事例解説②: 阪神・淡路大震災

平成7年1月17日午前5時46分、淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生、神戸市を中心とする阪神間の地域は、阪神高速道路の橋脚が倒壊するほどの大きな揺れに襲われました。この地震では、後日行われた気象庁の調査により、昭和23年の福井地震を契機として設定された「震度7」が、初めて神戸市沿岸部や芦屋市・西宮市・宝塚市・淡路島の一部に適用されています。

地震により多くの家屋・建物が倒壊したこと、神戸市長田区などで延焼火災が発生したことなどにより、人的被害は、死者6,434名（地震後の被災生活による病死などの災害関連死を含む）、負傷者43,700余名に及びるとともに、ピーク時には30万人を超える人々が、主に学校施設などに設けられた避難所での生活を強いられました。これら避難所の運営・管理は、多くの場合、その施設の管理者等が担うこととなったため、避難所となった多くの学校では教職員が避難所運営の中核となって活動したとされています。

また、震災後の被災地では、多くの災害ボランティアが駆け付け、様々な側面で被災者の支援に当たりました。このため、この年は「ボランティア元年」と呼ばれ、地震が発生した1月17日は「防災とボランティアの日」に制定されています。

◆ 事例解説③: 東日本大震災

平成23年3月11日14時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、岩手・宮城・福島3県の太平洋岸を中心に広く北海道から関東地方にかけての地域で、地震動及び巨大津波による激甚な被害が発生しました。

地震と津波による犠牲者は、死者（災害関連死を含む）19,689名、行方不明者2,563名にのぼっています（平成31年3月31日消防庁まとめ、余震による死者・行方不明者を含む）。また、福島県の沿岸部に位置する東京電力（株）福島第一原子力発電所では、津波に襲われたことにより全電源を喪失して原子炉が冷却不能となり、1~3号機の核燃料が溶融するとともに、1,3,4号機で水素爆発が発生、大量の放射性物質が放出される原子力災害を引き起こしました。

この災害では、小中学校の児童生徒等が「率先避難者」となっていち早く高台等を目指し、自らの身の安全を守るだけでなく、地域住民等の避難を促すことにもつながった例がありました。一方、保護者等への引き渡しを行ったため、帰宅途中や帰宅後に児童生徒が津波に襲われて犠牲となったケースもあります。また、宮城県石巻市立大川小学校では、地震後校庭に避難して待機していた児童・教職員84名が津波にのまれて死亡又は行方不明となり、学校管理下による最大の犠牲者をもたらしました。そして一部の児童・遺族が県・市に対して損害賠償を求めた裁判では、令和元年10月に最高裁判所が県・市の上告を退け、震災前の学校における防災体制に不備があったとする二審判決が確定しています。

東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等の見直し

**「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議」(第1回～5回)
中間とりまとめ(平成23年9月)**

【防災教育】

- 自然災害等の危険に際して自らの命を守り抜くため「主体的に行動する態度」を育成する
- 支援者となる視点から、安全で安心な社会づくりに貢献する意識を高める

【防災管理等】

- 被災時における安全を確保するための防災管理・組織活動の充実・徹底

**「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議」(第6回～9回)
主な提言内容 最終報告(平成24年7月)**

- 防災教育の指導時間の確保に向け、主体的に行動する態度や支援者としての視点を育成する観点から、児童生徒の発達の段階を踏まえた系統的・体系的な指導を行うことが必要。
- 特に津波災害については、東日本大震災の教訓を踏まえ、地域の特性に応じ、様々な場面や状況を想定した上で、津波避難マニュアルを作成し、訓練を実施していくことが必要。
- 教職員の被災など、想定以上の災害が発生した東日本大震災における事例も考慮し、臨機応変に対応できる組織の在り方が求められる。
- 引き渡しのルールや避難所の開設・運営については、あらかじめ、保護者や地域住民と連携を確立させることが必要。
- 防災マニュアルの作成に当たっては、保護者・地域住民、関係機関等の協働により作成するとともに、訓練の実施結果等に 基づき、常に見なおしを行うことが必要。

◆ より詳しく学ぶために...

○ 気象庁ウェブサイト 

サイト上では次のような様々な情報が公表されています。

- 気象警報・注意報
- キキクル(危険度分布)
- 雨雲の動き



○ ハザードマップポータルサイト～身のまわりの災害リスクを調べる～(国土交通省) 

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報を1つの地図上に重ねて表示する「重ねるハザードマップ」や、全国各市町村のハザードマップを検索できる「わがまちハザードマップ」を活用することができます。



○ J-SHIS 地震ハザードステーション(国立研究開発法人防災科学技術研究所) 

将来日本で発生する恐れのある地震による強い揺れを予測し、予測結果を地図として表した、全国地震動予測地図(J-SHIS Map)を公開しています。



○ 災害年表マップ(国立研究開発法人防災科学技術研究所) 

日本全国の過去の自然災害事例を、発生年ごとに市区町村単位でWebの地図上に表示することができます。約6万3,000件のデータ(期間:416~2020年)が収録されています。

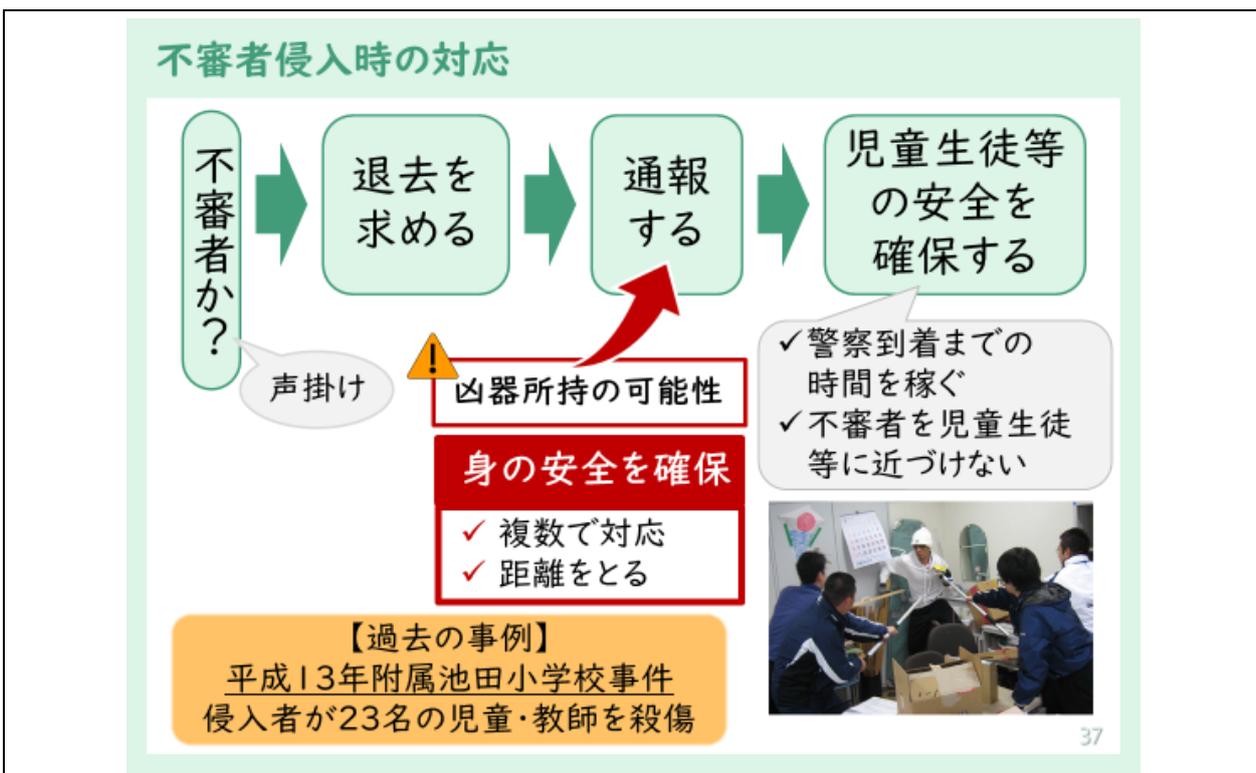


○ 全国の水難事故マップのページ(子どもの水辺サポートセンター) 

2003~2021年の19年間に発生した2,994件の水難事故の内容と事故発生地点の位置情報を確認できます。また、川や水辺での活動時の服装や装備、必要な準備について解説した「水辺の安全ハンドブック」(2018年版)も掲載されています。



5.7 不審者侵入時の対応



最後に、不審者侵入時の対応も見てみましょう。

校地・園地内で関係者以外の姿を見かけた場合には、不審者かどうか確認するため、声をかけて用件を尋ね、正当な理由なく立ち入っている場合には退去を求めます。不審者はナイフなどの凶器を所持していることもあるので、身の安全を確保するとともに、危険を感じた場合は躊躇なく警察に通報します。その後は、児童生徒等の安全を最優先に、警察到着までの時間を稼ぐことが必要です。

参照	学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3)p.74,75
	学校の危機管理マニュアル作成の手引 (H30.2)p.24~31
	学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン (R3.6)解説編 p.59

◆ 事例解説：平成13年附属池田小学校事件

平成13年6月8日、大阪教育大学教育学部附属池田小学校に凶器を持った男が侵入、児童を次々と襲いました。これにより、児童8名が死亡するとともに、児童13名・教員2名が負傷し、また児童・保護者・教員が精神的に大きな傷を受けて長期にわたるケアが必要となりました。

この事件をきっかけに、学校における危機管理マニュアルの策定、防犯訓練の実施や防犯設備の整備など、学校防犯対策が強化されるようになりました。また、このような学校危機の発生に対して専門的に対応できる組織的・包括的な活動を支援する全国共同利用施設「国立大学法人大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター（現在は「学校安全推進センター」と改称）」が設立されました。

ワークの解説

ワーク1:危機管理マニュアルにおける役割

【アドバイス】

- その役割を果たすため、研修・訓練等を通じて、自身の資質・能力の向上を図りましょう。
- わからない点、疑問に感じる点は、積極的に質問して、あらかじめそれらを解消しておきましょう。

ワーク2:すべり台の安全点検



【観点例】

- 遊具の破損や転倒を想定し、支柱、柵等のぐらつき・腐食・亀裂、基礎の露出はないか
- 滑降・着地時の負傷を想定し、着地面や周辺に石などはないか、滑降面に突起物はないか
- 肩掛けカバンのひもが首に巻き付くことを想定し、ひも等が引っ掛かりやすい隙間等はないか

ワーク3:教室の安全点検



【観点例】

- 戸棚、ロッカーなどの転倒・移動の危険はないか
- 照明器具、時計、スピーカーなどが落ちそうになっていないか
- 窓の手すりに異常、故障はないか、窓下に足掛かりになるものはないか

ワーク4:清掃活動中の安全に関する指導



【指導例】

- 窓枠などをしっかり持って動かないようにと声をかける
- ゆっくりと近づき、児童の体を支えつつ、室内に戻らせる
- 日頃から窓の外側に出ることの危険性や、窓掃除の適切な方法などを指導する

安全教育に役立つ資料等

<p>◆ 学校安全全般</p> <p>学校安全フリーイラスト集（（独）日本スポーツ振興センター） 生徒や先生、学校生活のイラスト画像データ（PNG 形式）を無料でダウンロードできます。学校教材や配布物等に活用できます。</p>	
<p>教材カード（（独）日本スポーツ振興センター） 児童生徒への安全に関する指導に活用できる教材カード（A4 版、表裏）が掲載されています。（タイトル一覧は次ページ参照）</p>	
<p>たいせつないのちとあんぜん（文部科学省 H2.2） 小学校低学年向け登下校時の防犯・交通安全・災害安全の指導に活用できるワークシートです。</p>	
<p>安全に通学しよう～自分で身を守る、みんなで守る～（文部科学省 H25.3） 交通安全、生活安全（防犯）、災害安全（防災）の各領域を網羅した、児童の安全な通学のための教育教材（DVD）</p>	
<p>やってみよう！登下校見守り活動ハンドブック（文部科学省 R3.3） 見守り活動の手引きとして、注意事項、注意が必要な場所、活動における工夫などが掲載されています。</p>	

◆ 生活安全

<p>運命の 5 分間その時あなたは（DVD）（（独）日本スポーツ振興センター） 心停止のサインである心室細動と死戦期呼吸について CG とドラマでわかりやすく表現しています。また、心肺蘇生と AED の使用の必要性を認知させる構成となっています。</p>	
<p>「Stop!子供の性被害」ウェブサイト内「対策のための啓発資料」（警察庁） 相談窓口の案内等、性被害対策の啓発資料を掲載するほか、いわゆる「JKビジネス」と呼ばれる営業でのアルバイトや児童が自らを撮影した画像に伴う被害（いわゆる「自画撮り」被害）、「神待ち掲示板」への書き込みを端緒とする性被害の現状について、再現ドラマで紹介しています。</p>	
<p>「インターネット利用に係る児童の犯罪被害等防止啓発動画」のページ（（財）警察協会） インターネットに起因する典型的な犯罪被害や非行の事例を題材にして、インターネット上の危険性や指導のポイントを示した動画が掲載されています。</p>	
<p>「情報モラル教育の充実」のページ（文部科学省） インターネットや SNS の危険性に関する児童生徒向け啓発資料（パンフレットや動画）や教師向けの指導手引、情報モラルに関する教育委員会や学校の取組を紹介した実践事例集が掲載されています。</p>	
<p>救急お役立ちポータルサイト（総務省消防庁） 救急車の役割や使い方、緊急度判定体系の概念や重要性に関する教材（保育園児・幼稚園児向けの紙芝居、小学生向けの短編アニメーション、中学生以上向けの動画）が掲載されています。</p>	
<p>「救急の日ショートムービーコンテスト」のページ（総務省消防庁） 救急隊や救急救命士の活動を紹介したショートムービーのコンテストで入賞した動画が掲載されています。</p>	
<p>上手にネットと付き合おう！安心・安全なインターネット利用ガイド（総務省） 様々なインターネットトラブル事例やトラブル防止のために気を付けるべきことについて、動画やイラストを用いて紹介しています。また、「保護者・教職員向け」ページでは、授業に活用できる指導事例、指導案標準フォーマット等も掲載されています。</p>	
<p>「製品安全ワークブック」のページ（経済産業省） 小学校高学年向けのワークブックと企業訪問を含めた体験学習プランならびに取組事例、中学校技術・家庭科用教材としてのワークブックと指導の手引きが掲載されています。</p>	

<p>青少年を取り巻く有害環境対策の推進（文部科学省）</p> <p>ネットを通じた子供の性被害の防止に向けた啓発用資料、青少年を取り巻く有害環境対策推進に係る調査結果及び事例集等が掲載されています。</p>	
<p>生命（いのち）の安全教育（文部科学省・内閣府）</p> <p>子供たちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないようにする、「生命（いのち）の安全教育」について、教材や指導の手引きが記載されています。</p>	

（独）日本スポーツ振興センター作成の教材カードの一覧

	タイトル	対象				
		幼・保/ 幼・保の先生	小学校	中学校	高等学校等	先生・顧問 ・保護者
4 令和 年度	熱中症に注意しよう!	○		○	○	
	アナフィラキシーを知って防ごう			○	○	○
	運動部活動での事故を防ぐために			○	○	○
令和3 年度	通学中の事故に注意しましょう	○	○	○	○	○
	熱中症を予防しよう	○				○
	プールの事故に気を付けよう		○			○
	熱中症に注意しよう!	○		○	○	
	骨折事故を防ごう（中高編）			○	○	○
	運動会・体育祭でのけがに注意!		○	○	○	○
	眼の事故防止		○	○	○	
	骨折事故の防止（小学校編）		○			○
	固定遊具の事故防止（小学校編）		○			
	固定遊具の事故防止（幼稚園・保育所等編）	○				
	突然死の予防		○			○
	通学中のケガに気を付けよう		○	○	○	
令和2 年度	プールの事故に気を付けよう!		○	○	○	○
	熱中症に注意しよう!	○		○	○	○
	球技での事故をなくそう!			○	○	○
	運動会・体育祭でのけがに注意!	○	○	○	○	○
	球技での事故を防ごう!			○	○	○
	正しい手洗いをしよう!	○	○	○	○	○
	頭頸部外傷の事故防止			○	○	○
	歯・口のけがを防止しよう!		○	○	○	○
	休憩時間中の事故防止		○			○
令和元 年度	眼のけがに気をつけよう!			○	○	
	熱中症を予防しよう!	○	○			○
	プールの事故に気をつけよう!		○	○	○	○
	運動・スポーツ時の熱中症事故を防ごう!			○	○	
	突然死～予防と応急手当～			○	○	○
	運動会・体育祭でのけがに注意!		○	○	○	○
	野球での事故を減らそう!			○	○	○
	防ごう!投てき種目の事故			○	○	○
	減らそう段差での事故!・防ごう遊具での事故!	○	○	○	○	○
	～女の子に多いけがを中心に～					
	ノロウイルス感染に注意!	○	○			○
	転落事故に注意!			○	○	○
	通学・通園中の事故に気をつけよう!	○				○
正しい手洗いをしよう!	○	○	○			

◆ 交通安全	
<p>安全な通学を考える～加害者にもならない～(文部科学省 H24.3)</p> <p>実際の交通場面の映像を活用した危険予測等、生徒の安全な通学のための教育教材(DVD)</p>	
<p>「イタルダイナモーション」のページ((公財)交通事故総合分析センター)</p> <p>交通事故の調査・分析結果を分かりやすく解説した交通安全教育に役立つ基礎的な資料が掲載されています。</p>	

◆ 災害安全	
<p>地震をみてみよう(文部科学省地震調査研究推進本部 H29.12)(PDF:5.3MB)</p> <p>小学生を対象に、地震についての正しい知識を持ち、地震に対して備えることの大切さを解説した入門編のパンフレットです。</p>	
<p>地震を正しく恐れる(文部科学省 H29.12)(PDF:24.8MB)</p> <p>中学生・高校生以上を対象に、地震によって起こる現象や被害、最先端の地震研究、減災・防災対策を紹介しているパンフレットです。</p>	
<p>災害から命を守るために(低学年・高学年用)(文部科学省 H20.3)</p> <p>小学生用防災教育教材 DVD</p>	
<p>災害から命を守るために(中学生用)(文部科学省 H21.3)</p> <p>中学生用防災教育教材 DVD</p>	
<p>災害から命を守るために(高校生用)」(文部科学省 H22.3)</p> <p>高校生用防災教育教材 DVD</p>	
<p>「防災基礎講座」のページ(国立研究開発法人防災科学技術研究所)</p> <p>自然災害および防災の基礎知識に関する一般向けの学習資料です。基礎知識編、災害事例編、災害予測編、防災対応編、地域特性編、地域災害環境編で構成されています。</p>	
<p>E-ディフェンス「加振実験映像」のページ(国立研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター)</p> <p>E-ディフェンス(実大三次元震動破壊実験施設)で行われた実物大の様々な建物や地盤などの振動台実験の概要と代表的な実験映像が公開されています。</p>	
<p>そのときに備えて(国立研究開発法人防災科学技術研究所)</p> <p>地震 台風・大雨 大雪 火山噴火 について災害への備えや発生時の心得や防災科研の取組についてイラストを交えて解説したデジタルブックです。</p>	
<p>エッキー・ゆらゆら・ナダレンジャー(国立研究開発法人防災科学技術研究所)</p> <p>雪崩や液状化、地震の揺れ等の自然災害の仕組みについて、自ら考案・制作した実験道具を使い、楽しく、わかりやすく伝える活動を行っています。</p>	
<p>「TEAM 防災ジャパン」ウェブサイト(内閣府)</p> <p>トップページに小学生高学年向け防災教育コンテンツ「私のお家は大丈夫?」が掲載されているほか、「防災資料室」では防災教育に関する様々な資料を閲覧することができます。</p>	
<p>「防災教育チャレンジプラン」ウェブサイト(内閣府・防災教育チャレンジプラン実行委員会)</p> <p>防災教育に取り組む個人、団体の交流の場をつくり、知恵や情報の共有、取組の活性化を目的に実施されているプログラム「防災教育チャレンジプラン」で実施された教育事例(防災教育の素材、イベントのヒント、学校の授業での取組み方)が紹介されています。</p>	

<p>地域における防災教育の実践に関する手引き（内閣府・防災教育チャレンジプラン実行委員会 H27.3）（PDF:2.1MB）</p> <p>全国各地での防災教育を推進することを目的に、防災教育を円滑に進めるために必要な知識・ノウハウ、これから防災教育に初めて取り組もうとする者の手本となりうる優秀な実践事例を整理・分析して、防災教育を実践する過程で生じる様々な課題を解決するためのヒントを示しています。</p>	
<p>「防災・危機管理 e カレッジ」ウェブサイト（総務省消防庁）</p> <p>小学校低学年以下の児童やその保護者を対象とした、クイズ形式で災害について学ぶことのできる動画等が掲載されています。</p>	
<p>TEC-FORCE:緊急災害対策派遣隊（国土交通省）</p> <p>TEC-FORCE 創設の背景や活動状況、充実・強化に向けた今後の取組予定などをコンテンツとして提供しています。</p>	
<p>防災教育ポータルサイト（国土交通省）</p> <p>学校で授業を行う先生方をはじめ、皆様に防災教育に取り組んでいただく際に役立つ情報・コンテンツとして、国土交通省の最新の取組内容や授業で使用できる教材例・防災教育の事例などを紹介しています。</p>	
<p>地理院地図（国土地理院）</p> <p>自分たちの地域の地形や災害リスクなどが分かる地図・写真を見ることができます。標高、自然災害伝承碑、指定緊急避難場所などを知り、災害対策に役立てることができます。</p>	
<p>防災教育に使える副教材・副読本ポータル（気象庁）</p> <p>気象庁が作成した資料に加えて、日本赤十字社、日本損害保険協会並びに都道府県及び政令市の各教育委員会が作成し、気象庁がその作成に協力した資料を対象年齢別、現象別、資料の形態別及び作成機関別に紹介しています。</p>	
<p>災害から身を守ろう～今、あなたに知ってほしいコンテンツをそろえました～（気象庁）</p> <p>授業等で利用可能なビデオ映像（「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう」、「津波に備える」、「津波からにげる」、「緊急地震速報のしくみと心得」、「特別警報」）が掲載されています。字幕版や英語字幕版のものもあります。</p>	
<p>「気象庁ワークショップ:経験したことのない大雨 その時どうする?」のページ（気象庁）</p> <p>グループワークを通して、自らの問題として日頃からの備えや適時適切な防災気象情報の入手とその情報を活用した安全行動を事前にシミュレートするワークショップを、気象庁の職員ではない方でも小学校高学年から一般の方までを対象にワークショップを準備、実施できるよう運営マニュアルを公開しています。</p>	

○ 全国の気象台の防災教育支援ページ

- 札幌管区気象台

教師や児童・生徒が、防災について学習する際に役立つ資料一覧を掲載しています。単元・教科・対象毎のリストが選択可能になっており、防災に関する学習に必要な資料を探しやすい工夫されています。

- 仙台管区気象台

防災教育の支援に関するページです。園児や小学校低学年の児童に読み聞かせすることを念頭に作成した防災紙芝居を掲載しています。読み聞かせを通じて、大雨や雷、地震や津波の危険性とそれらから身を守る行動を理解することを目的としています。読み聞かせ例の動画や紙芝居の作り方もありますので、ダウンロードしてご利用ください。

- 山形地方気象台

災害から身を守るために知っていただきたいことや、気象の知識に関する資料を掲載しています。山形地方気象台・山形県教育庁作成の児童生徒等に対する安全教育のコンテンツです。「竜巻から身を守ろう」「山形県にある火山」「雪の中での安全」の項目で構成し、身の回りの危険を予測し、適切な行動加とれるよう、自身で考えさせるようにしています。

- 東京管区気象台

台風などの雨や風、雷・竜巻などから身を守るための資料、ポケット版リーフレット「スマホでわかる!気象災害から命を守ろう!!」など学校での避難訓練や授業で活用できる資料を紹介しています。

• 水戸地方気象台 

学校授業内で利用できる副教材として、地震・津波や風水害から身を守るための注意点や心構えをイラスト入りで説明した資料を掲載しています。対象年齢別に、小学校低学年、高学年及び中学生向けの3種類を用意しています。また、DVDやリーフレット・ポスターへのリンクも掲載しています。

• 宇都宮地方気象台 

地震、竜巻、火山に関する小中学生の防災教育に必要な教育プログラムの作成・提供に向けた取組を推進しています。教育プログラムは、各校で改編できるように修正可能なファイル形式とし、自由にダウンロードできます。学校防災マニュアルを補完する教育教材としてご活用下さい。

• 熊谷地方気象台  

「局地的な大雨・竜巻から身を守る」のページでは、登下校等の判断に利用できる気象情報の提供及び夏休み前の安全指導用資料、「緊急地震速報を利用した避難訓練」のページでは、避難訓練を実施するために必要な情報が掲載されています。

• 甲府地方気象台 

「防災授業教材集(地震編/気象災害編)」及び講義動画「気象をマナブ」の紹介等、防災教育に関わる情報を提供しています。の解説及び「緊急地震速報を活用した避難訓練」等、防災教育に関わる情報を提供しています。

• 名古屋地方気象台 

児童・生徒向けの授業教材を現象別にまとめたページです。「ちよこつとぼうさいプリント」は、地震、積乱雲、台風、津波、火山について生徒自ら学べるように日本赤十字社愛知県支部及び名古屋地方気象台が開発した自主学习形式のプリント教材です。

• 大阪管区気象台 

「防災授業支援メニュー」として、次世代を担う子どもたちに、大雨・地震・津波などによる災害はどのようなものか、その災害から命を守るにはどのように行動すればよいのか、を理解してもらうための防災授業用教材を提供しています。教材は、パワーポイントで作成し、各スライドで何を説明するかの「台本」も用意しています。

• 高知地方気象台 

防災教育用教材として、南海トラフ地震発生時の対応を幼児から小学校低学年が身に付けられる「仕掛け絵本」の作成方法を紹介します。絵本作りを児童と行うことで、より理解が深まると考えています。また、中学生や高校生などが絵本を作成し、幼児や小学校低学年への読み聞かせにも利用いただけます。

• 福岡管区気象台 

「10分で防災」は短時間で命を守る防災を学習するプログラムです。これらの資料をダウンロードして利用することにより、児童・生徒が自分で自分の身を守るための「気づき」を得るような、防災意識・対応力の向上に役立てることができます。

• 沖縄気象台 

防災教育に有用なサイトやパンフレット、リーフレット、ビデオ等を紹介しています。また、教職員の防災教育を支援するため沖縄気象台と沖縄県教育庁保健体育課が共同で発行しているメールマガジンも掲載しています。

学校安全の取組事例

- 文部科学省「学校安全総合支援事業」、「学校安全総合支援事業」



学校安全ポータルサイト「文部科学省×学校安全」に、上記事業の全国成果発表会の資料が掲載されています。主な取組内容は以下のとおりです。

【令和3年度】

- 「学校、地域、関係機関が連携した地域全体での防災教育」～時代をつなぐ、横をつなぐ防災教育～（北海道教育庁）
市立恵山中学校において学校、地域住民、関係機関が連携した実践委員会を設置するとともに、1日防災学校の取組として、噴火警戒レベル4を想定した地域合同避難訓練を行った。
- ARを活用した実践的防災訓練 -学校安全推進体制の構築の一事例-（神奈川県教育委員会）
県立西湘高校において、BLS訓練・消火訓練、DIG（災害図上訓練）訓練、津波や火災を想定したARによる訓練を盛り込んだ実践的防災訓練を行った。
- 家庭や地域とともに取り組む防災教育～フェーズ・フリーを学校教育に取り入れて～（鳴門市教育委員会）
児童生徒の避難活動の改善、避難所運営支援計画の作成・見直しを行うとともに、フェーズ・フリーの視点で防災教育に取り組み、安全教育を推進した。また、鳴門市第二中学校では、適切な避難方法の把握と、防災の担い手としての実践力向上のため、避難所運営訓練を行った。

【令和2年度】

- 『自分を守る・地域を守る』学校安全総合支援事業～防災教育の取組について（宮崎県教育庁）
学校安全教育推進委員会、高校生防災・学校安全研修会、安全教育推進リーダー研修会の開催、学校安全実践地域訪問を通して、学校安全を推進した。また、SPS推進事業として、拠点校教員の研修参加、専門家による実地指導・審査を行った。
- 子供たちの命を守る新たな学校防災体制の構築に向けて（宮城県教育庁）
学校防災における取組状況調査を実施し、新たな学校防災体制の構築に向けた提言として、「教職員の様々な状況化における災害対応力の強化」「児童生徒等の自らの命を守り他者を助ける力の育成」「地域の災害特性等を踏まえた実効性のある学校防災体制の整備」「地域や関係機関等との連携による地域ぐるみの学校防災体制の整備」といった4つの基本方針を挙げた。
- 『学校安全総合支援事業』～学校安全推進体制の構築～（京都市の取組について）（京都市教育委員会）
拠点校である市立養徳小学校において、16の支部代表校を対象とした訓練モデルについての研修が実施され、研修に参加した各支部代表校は支部内の各校に研修内容を伝達している。訓練モデルとしては、「避難経路の安全を教職員が確認しながら連絡を取り合って二次避難につなげる避難訓練」と「緊急時における役割を理解し適切かつ迅速な対応ができるようにする実地訓練」がある。

【平成31（令和元）年度】

- 「自分の命は自分で守ることのできる」児童生徒の育成（秋田県教育庁）
研修や先進地の視察を通じた中核教員の育成、災害安全と交通安全の分野で、地域等と連携した体験的な教育、アドバイザー等の専門家の活用により安全教育を充実させた。
- 『未来へつながる』防災教育（和歌山県教育委員会、田辺市教育委員会）
管理職・防災担当者を対象とした防災リーダー育成事業、高校生防災スクール、モデル地域における取組を県内全体へ発信することによる持続的な防災教育体制の構築により安全教育の充実を図った。
- 新宮町立新宮東中学校における地域と連携した安全安心の取組について（福岡県教育委員会、新宮町教育委員会）
新たな学校の開校に際し、学校・教育委員会・地域が連携して学校安全に関する協議会を設置し、通学路の危険箇所点検と防犯カメラ等の整備、総合的な学習の時間での安全教育等の取組を実施した。

【平成30年度】

- 中核教員の資質向上に関する取り組みについて（群馬県教育委員会）
気象庁や日本交通安全教育普及協会、自動車メーカー等の専門家を活用した研修を開催し、学校安全の中核教員を育成した。
- 地域へ、全国へ、そして未来につなげる熊本県の防災教育（熊本県教育委員会）

有識者を交えた推進委員会と防災型コミュニティスクール学校運営協議会の合同開催、学校防災アドバイザーの助言等を活用し、実践的な避難訓練、校内研修、マニュアルの見直し等を行った。

- 取組の実施前後で児童生徒の変容を調査するための方法について(岐阜県教育委員会)
モデル地域の全幼稚園・小中学校・高等学校で防災教育を実践するとともに、「減災力テスト」を用いた効果測定を行った。

【平成 29 年度】

- 滋賀県教育委員会における交通安全の取組(滋賀県教育委員会)
警察等関係機関と連携した交通安全教室の実施や、生徒が交通安全に関わるポスターや標語を作成することにより、生徒や近隣の小中学校児童生徒の交通安全意識の向上を図った。
- 安全教育手法の開発・普及(佐伯市教育委員会)
小中学校9年間を通した防災教育の教育課程を編成し、地域や関係機関と連携した防災教育を実践した。
- 全ての学校における学校安全推進体制の構築のための担当者研修等の取組～神戸の防災教育～(神戸市教育委員会)
全校園に防災教育担当者を位置付け、研究会を実施して中核となる教員の資質向上を図るとともに、実践研究推進校園を指定し、地域の実情に応じた防災教育の推進と成果の普及を行なった。

【平成 28 年度】

- 安全教育手法の開発・普及【防災に関すること】(鳥取県教育委員会)
鳥取県及び鳥取市立佐治小学校において、鳥取県中部地震の経験や、それを踏まえた防災教育の取組、また、土砂災害を想定した避難訓練の実施など地域の実情に応じた取組を実施。
- 関係機関と連携した交通安全指導(岡山市教育委員会)
警察との連携を積極的に行い、市内の学校において自転車の安全な通行に関する教材を用いた学習の効果を検証し、以後の取組に生かし、児童生徒の交通安全意識の向上を目指す取組の実施。
- 学校安全管理体制の構築・強化について(宮城県教育委員会)
宮城県において、防災主任・安全担当主幹教諭を安全教育の中核として配置し、地域や関係機関との連携による、組織的な学校安全推進体制の構築を目指す取組の実施。大崎市立岩出山小学校において、学校・地域防災(安全)委員会を設置し、保護者や関係機関、近隣の学校等との連携による、持続可能な安全教育の推進に向けた取組の実施。

- 効果的な交通安全教育に関する調査研究調査報告書(文部科学省 H26.2) (PDF:1.8MB)

Ⅲ.事例ヒアリング調査の部分では、4つの交通安全教育の事例が紹介されています。



- 地域防災 Web(国立研究開発法人防災科学技術研究所)



市区町村ごとの災害危険性評価の結果を見ることができます。また、評価結果の類似する市区町村のランキングから、その地域で取り組まれている防災教育等の実践事例を探ることができます。さらに、利用登録(無料)することで学校区のより詳細な情報を得ることもできます。



URL 一覧（令和4年12月10日時点）

共通参照資料

- 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育（H31.3）
 - 第1章 総説
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_03.pdf
 - 第2章 学校における安全教育
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_04.pdf
 - 第3章 学校における安全管理
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_05.pdf
 - 第4章 事故等発生時における心のケア
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_06.pdf
 - 第5章 安全教育と安全管理における組織活動
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_07.pdf
 - 別表 安全管理の対象、項目等
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_08.pdf
 - 付録 学校安全計画例
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_09.pdf
 - 付録 安全に関する指導の内容例
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_10.pdf
 - 付録 安全点検表の一例
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_11.pdf
 - 付録 学校保健安全法（別表・付録全体）
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_02.pdf
 - 付録 幼稚園教育要領、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の学習指導要領（抄）
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_13.pdf
- 学校の危機管理マニュアル作成の手引（文部科学省 H30.2）
 - <https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryoudata/aratanakikijisyoudall.pdf>
- 学校防災マニュアル（地震・津波災害）作成の手引き（文部科学省 H24.3）
 - <https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryoudata/saigai02.pdf>
- 学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン（文部科学省 R3.6）
 - https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1401870_00002.htm

1. 学校安全の体系

- 校内研修シリーズ No.32「学校安全（総論）」（独）教職員支援機構
 - <https://www.nits.go.jp/materials/intramural/032.html>
- 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育（H31.3）付録 学校安全計画例
 - https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_09.pdf

2. 安全教育

- 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3)
付録 幼稚園教育要領、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の学習指導要領(抄)
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_13.pdf
- 学校安全ポータルサイト「文部科学省×学校安全」
「都道府県・政令市教育委員会作成資料一覧」のページ
<https://anzenyouiku.mext.go.jp/todoufuku/index.html>
「映像資料(DVD)」のページ
https://anzenyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/index_video.html
- 国土地理院の出勤講座 (国土地理院)
<https://www.gsi.go.jp/DEMAE/demae.htm>
- 学校関係者向け「水災害からの避難訓練ガイドブック」(国土交通省 R4.3)
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html#cha01>

4. 事故等の未然防止

- 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3) 別表 安全管理の対象、項目等
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_08.pdf
- 学校安全資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 (H31.3) 付録 安全点検表の一例
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/05/15/1416681_11.pdf
- 学校施設における事故防止の留意点について(文部科学省 H21.3)
<https://anzenyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/data/daijinkanbou/jikoboushihoukoku-zentai.pdf>
- 学校における転落事故防止のために(文部科学省 H20.8)
<https://anzenyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/data/seikatsu02.pdf>
- 学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック(文部科学省 改訂版 H27.3、追補版 H31.3)
https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/shuppan/1291462.htm
- 都市公園における遊具の安全確保に関する指針(改訂第2版)(国土交通省 H26.6)
<https://www.mlit.go.jp/common/000022126.pdf>
- なかよくあそぼうあんぜんに(社)日本公園施設業協会 R2.3)
<https://www.jpfa.or.jp/0ed71300de6f7d4dcf12ab28e2dcf5743cbb1b9c.pdf>
- 学校における固定遊具による事故防止対策調査研究報告書((独)日本スポーツ振興センター H24.3)
https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/bousi_kenkyu/tabid/1483/Default.aspx
- 「水害リスクを踏まえた学校施設の水害対策の推進に向けて」中間報告(学校施設等の防災・減災対策の推進に関する調査研究協力者会議 R4.6)
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/063/toushin/mext_00001.html
- 台風等の風水害に対する学校施設の安全のために(文部科学省 R2.3)
https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/bousai/mext_00477.html
- 避難所となる学校施設の防災機能に関する事例集(文部科学省 R2.3)
https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/shuppan/mext_00484.html
- 教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応(文部科学省 H21.3)
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1260335.htm
- 学校安全 Web ((独)日本スポーツ振興センター)
<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/tabid/102/Default.aspx>

- 登下校防犯プランの概要(内閣官房 H29.6)
https://www8.cao.go.jp/youth/bouhan/pdf/h30_gaiyou.pdf
- 登下校防犯プランポータルサイト(内閣府)
<https://www8.cao.go.jp/youth/bouhan/index.html>
- 登下校時における児童生徒等の安全確保について(依頼)(文部科学省 H30.7)
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1407174.htm
- 登下校時の安全確保に関する取組事例集(文部科学省 H18.1)
http://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/12/05120900/007.htm
※ 文部科学省のウェブサイトでの掲載が終了したため、国立国会図書館が収集したウェブサイトが表示されます。
- 「科学が支える子どもの被害防止」のサイト(予防犯罪学推進協議会)
<http://www.skre.jp/nc2/>
- 通学中の事故の現状と事故防止の留意点調査研究報告書((独)日本スポーツ振興センター H26.3)
<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/Tabid/1730/Default.aspx>
- やってみよう!登下校見守り活動ハンドブック(文部科学省 R3.3)
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/tougekoumimamori/index.html>

5. 事故等発生時の緊急対応

- 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン(内閣府 H28.3)
https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/kyouiku_hoiku/pdf/guideline3.pdf
- 文部科学省×学校安全 熱中症・水難事故防止関連情報(文部科学省)
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/heatillness/index.html>
- 学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き(環境省・文部科学省 R3.5)
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1401870_00001.htm
- 「熱中症を予防しようー知って防ごう熱中症ー」のページ((独)日本スポーツ振興センター)
https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/bousi_kenkyu/nettyuusyo/tabid/114/Default.aspx
- 「熱中症から身を守るために」のページ(気象庁)
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/kuu/kurashi/netsu.html>
- 熱中症予防情報サイト(環境省)
<https://www.wbgt.env.go.jp/>
- 熱中症に気をつけよう!~水分補給の大切さ~((財)日本学校保健会)
<https://www.gakkohoken.jp/heatstroke/index>
- スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック((財)日本スポーツ協会 R1.5)
https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/supoken/doc/heatstroke/heatstroke_0531.pdf
- 「ASUKA モデル」のページ(さいたま市)
<https://www.city.saitama.jp/003/002/013/index.html>
- 運命の5分間その時あなたは(DVD)((独)日本スポーツ振興センター)
<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/tabid/1765/Default.aspx>
- 体育活動による頭部・頸部の外傷~発生時の対応~(DVD)((独)日本スポーツ振興センター)
<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/tabid/1765/Default.aspx>
- スポーツ事故防止ハンドブック((独)日本スポーツ振興センター)
https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/bousi_kenkyu/tabid/1956/Default.aspx
- 学校での緊急時対応計画:EAP((独)日本AED財団)
https://aed-zaidan.jp/user/media/aed-zaidan/files/download/School_EAP.pdf

- 「アレルギー疾患対策」のページ(文部科学省)
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1353630.htm
- 学校の管理下における食物アレルギーへの対応調査研究報告書((独)日本スポーツ振興センター H23.3)
<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/kankobutuichiran/tabid/1419/Default.aspx>
- エピペン®サイト
<https://www.epipen.jp/>
- 学校給食における食物アレルギー対応指針(文部科学省 H27.3)
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2015/03/26/1355518_1.pdf
- 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン(令和元年度改訂)((財)日本学校保健会)
https://www.gakkohoken.jp/book/ebook/ebook_R010060/R010060.pdf
- 気象庁ウェブサイト
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
 警報・注意報
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>
 レーダーナウキャスト(降水・雷・竜巻)
<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>
 高解像度降水ナウキャスト
<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>
- ハザードマップポータルサイト(国土交通省)
<https://disaportal.gsi.go.jp/>
- J-SHIS 地震ハザードステーション(国立研究開発法人防災科学技術研究所)
<http://www.j-shis.bosai.go.jp/>
- 災害年表マップ(国立研究開発法人防災科学技術研究所)
<https://dil-db.bosai.go.jp/saigai2016/>
- 全国の水難事故マップのページ(子どもの水辺サポートセンター)
<http://www.kasen.or.jp/mizube/tabid118.html>

安全教育に役立つ資料等

学校安全全般

- 学校安全フリーイラスト集((独)日本スポーツ振興センター)
https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/download/tabid/466/Default.aspx
- 教材カード((独)日本スポーツ振興センター)
https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/card/tabid/519/Default.aspx
- たいせつないのちとあんぜん(文部科学省 R3.4)
https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryoudata/seikatsu05_h31.pdf
- 安全に通学しよう～自分で身を守る、みんなを守る～(文部科学省 H25.3)
https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryoudvd_tsuugaku_s.html
- やってみよう!登下校見守り活動ハンドブック(文部科学省 R3.3)
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/tougekoumimamori/index.html>

生活安全

- 運命の5分間その時あなたは(DVD)((独)日本スポーツ振興センター)
<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/tabid/1765/Default.aspx>
- 「Stop!子供の性被害」ウェブサイト内「対策のための啓発資料」(警察庁)

https://www.npa.go.jp/policy_area/no_cp/prevent/materials.html

- 「インターネット利用に係る児童の犯罪被害等防止啓発動画」のページ((財)警察協会)
<https://www.keisatukyokai.or.jp/pages/43/>
- 「情報モラル教育の充実」のページ(文部科学省)
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1369617.htm
- 救急お役立ちポータルサイト(総務省消防庁)
<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post3.html>
- 「救急の日ショートムービーコンテスト」のページ(総務省消防庁)
<https://www.fdma.go.jp/publication/movie/movie001.html>
- 上手にネットと付き合おう!安心・安全なインターネット利用ガイド(総務省)
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/
- 「製品安全ワークブック」のページ(経済産業省)
https://www.meti.go.jp/product_safety/consumer/kyouiku.html
- 青少年を取り巻く有害環境対策の推進(文部科学省)
https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/1354754.htm
- 生命(いのち)の安全教育(文部科学省・内閣府)
https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index.html

交通安全

- 安全な通学を考える～加害者にもならない～(文部科学省 H24.3)
https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryoudvd_tsuugaku_ck.html
- 「イタルダインフォメーション」のページ((公財)交通事故総合分析センター)
<https://www.itarda.or.jp/itardainfomation>

災害安全

- 地震をみてみよう(文部科学省地震調査研究推進本部 H29.12)
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryoudata/saigai05.pdf>
- 地震を正しく恐れる(文部科学省地震調査研究推進本部 H29.12)
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryoudata/saigai08.pdf>
- 災害から命を守るために(低学年・高学年用)(文部科学省 H20.3)
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryoudata/index.html>
- 災害から命を守るために(中学生用)(文部科学省 H21.3)
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryoudata/index.html>
- 災害から命を守るために(高校生用)(文部科学省 H22.3)
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryoudata/index.html>
- 「防災基礎講座」のページ(国立研究開発法人防災科学技術研究所)
<http://dil.bosai.go.jp/workshop/>
- E-ディフェンス「加振実験映像」のページ(国立研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター)
<http://www.bosai.go.jp/hyogo/research/movie/movie.html>
- そのときに備えて(国立研究開発法人防災科学技術研究所)
<http://www.bosai.go.jp/study/publish/book/sonotoki/html5.html#page=1>
- エッキー・ゆらゆら・ナダレンジャー(国立研究開発法人防災科学技術研究所)
https://www.bosai.go.jp/activity_general/ekky.html

- 「TEAM 防災ジャパン」ウェブサイト(内閣府)
<https://bosaijapan.jp/>
- 「防災教育チャレンジプラン」ウェブサイト(内閣府・防災教育チャレンジプラン実行委員会)
<http://www.bosai-study.net/top.html>
- 地域における防災教育の実践に関する手引き(内閣府・防災教育チャレンジプラン実行委員会 H27.3)
http://www.bousai.go.jp/kyoiku/pdf/h27bousaikyoiku_guidline_jp.pdf
- 「防災・危機管理 e カレッジ」ウェブサイト(総務省消防庁)
<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/>
- TEC-FORCE:緊急災害対策派遣隊(国土交通省)
<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/pch-tec/index.html>
- 防災教育ポータルサイト(国土交通省)
<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>
- 地理院地図(国土地理院)
<https://maps.gsi.go.jp/#5/36.104611/140.084556/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>
- 防災教育に使える副教材・副読本ポータル(気象庁)
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/fukukyouzai/index.html>
- 災害から身を守ろう～今、あなたに知ってほしいコンテンツをそろえました～(気象庁)
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/fukyu_portal/
- 「気象庁ワークショップ:経験したことのない大雨 その時どうする?」のページ(気象庁)
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jma-ws/index.html>
- 札幌管区气象台
<https://www.data.jma.go.jp/sapporo/bosai/bosaikyoiku/gakusyu.html>
- 仙台管区气象台
<https://www.jma-net.go.jp/sendai/knowledge/kyoiku/kamisibai.html>
- 山形地方气象台
<https://www.data.jma.go.jp/yamagata/detail/learning.html>
- 東京管区气象台
<https://www.jma-net.go.jp/tokyo/shosai/gyoumu/fukyu/fukyu.html>
- 水戸地方气象台
https://www.jma-net.go.jp/mito/knowledge/school_bosai.html
- 宇都宮地方气象台
<https://www.jma-net.go.jp/utsunomiya/bosai/bosaikyouiku/bosaikyouiku.html>
- 熊谷地方气象台
 - https://www.data.jma.go.jp/kumagaya/shosai/chishiki/ooamekara_miwomamoru.html
 - https://www.jma-net.go.jp/kumagaya/shosai/chishiki/kinkyujishin_kunren.html
- 甲府地方气象台
<https://www.jma-net.go.jp/kofu/shosai/jouhou.html>
- 名古屋地方气象台
<https://www.jma-net.go.jp/nagoya/shosai/info/kyoiku.html>
- 大阪管区气象台
https://www.jma-net.go.jp/osaka/fukyu/fukyu_index.html
- 高知地方气象台

<https://www.jma-net.go.jp/kochi/ehon/ehon.html>

- 福岡管区気象台
<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/chosa/education/I0mb.html>
- 沖縄気象台
https://www.jma-net.go.jp/okinawa/katsuyou/bosai_shien/top.html

学校安全の取組事例

- 文部科学省「学校安全総合支援事業」、「学校安全総合支援事業」全国成果発表会資料
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/index.html>
※ ページ上「全国での取組・モデル事業の概要と成果」の欄を参照。
- 効果的な交通安全教育に関する調査研究調査報告書（文部科学省 H26.3）
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/data/koutsu02.pdf>
- 地域防災 Web（国立研究開発法人防災科学技術研究所）
<https://chiiki-bosai.jp/>

学校安全に関する教職員の資質・能力の向上のための調査研究事業
教職員のための学校安全 e-ラーニング
初任者等向け研修 テキスト資料

発行年月 令和4年12月
著作権所有 文部科学省

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
電話 03-5253-4111

※本資料の内容を引用・転載する際には、出典を記載してください。
